

仮宿地区 復興まちづくり協議会・地権者連絡会

平成25年5月9日（木）

15:00 ~ 17:00

次 第

1. 市長からの挨拶
2. 国事業の進捗状況
3. 最新の土地利用計画
4. 災害危険区域の設定について
5. 復興公営住宅予定整備戸数、住宅再建支援策について
6. 意見交換

1. 市長あいさつ

2. 国事業の進捗状況

南三陸国道事務所管内の復興道路・復興支援道路

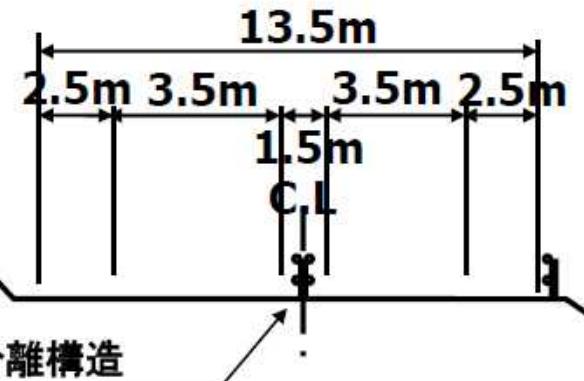
国土交通省 南三陸国道事務所

【復興道路】三陸沿岸道路（仙台市～八戸市）

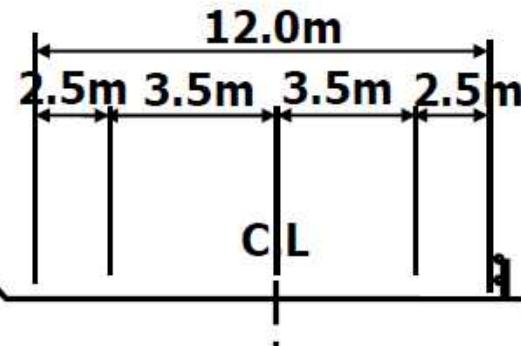


【2車線部】

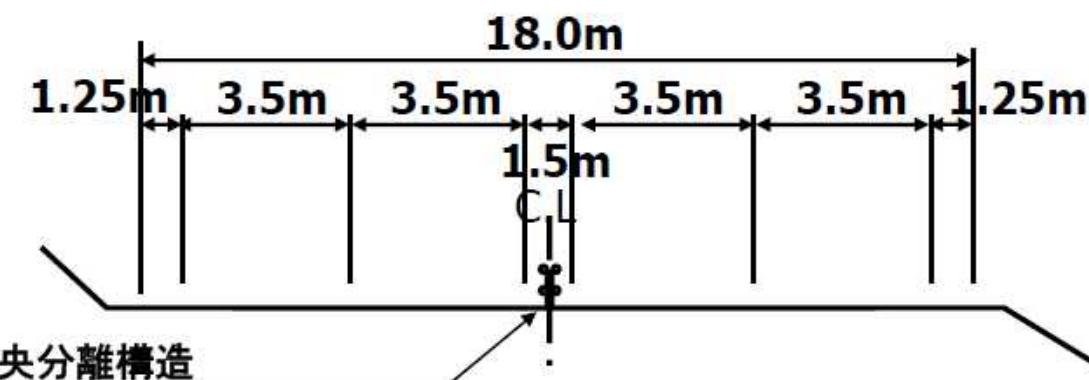
- 吉浜IC～釜石JCT
- 釜石JCT～釜石西IC



- 釜石JCT～大槌IC

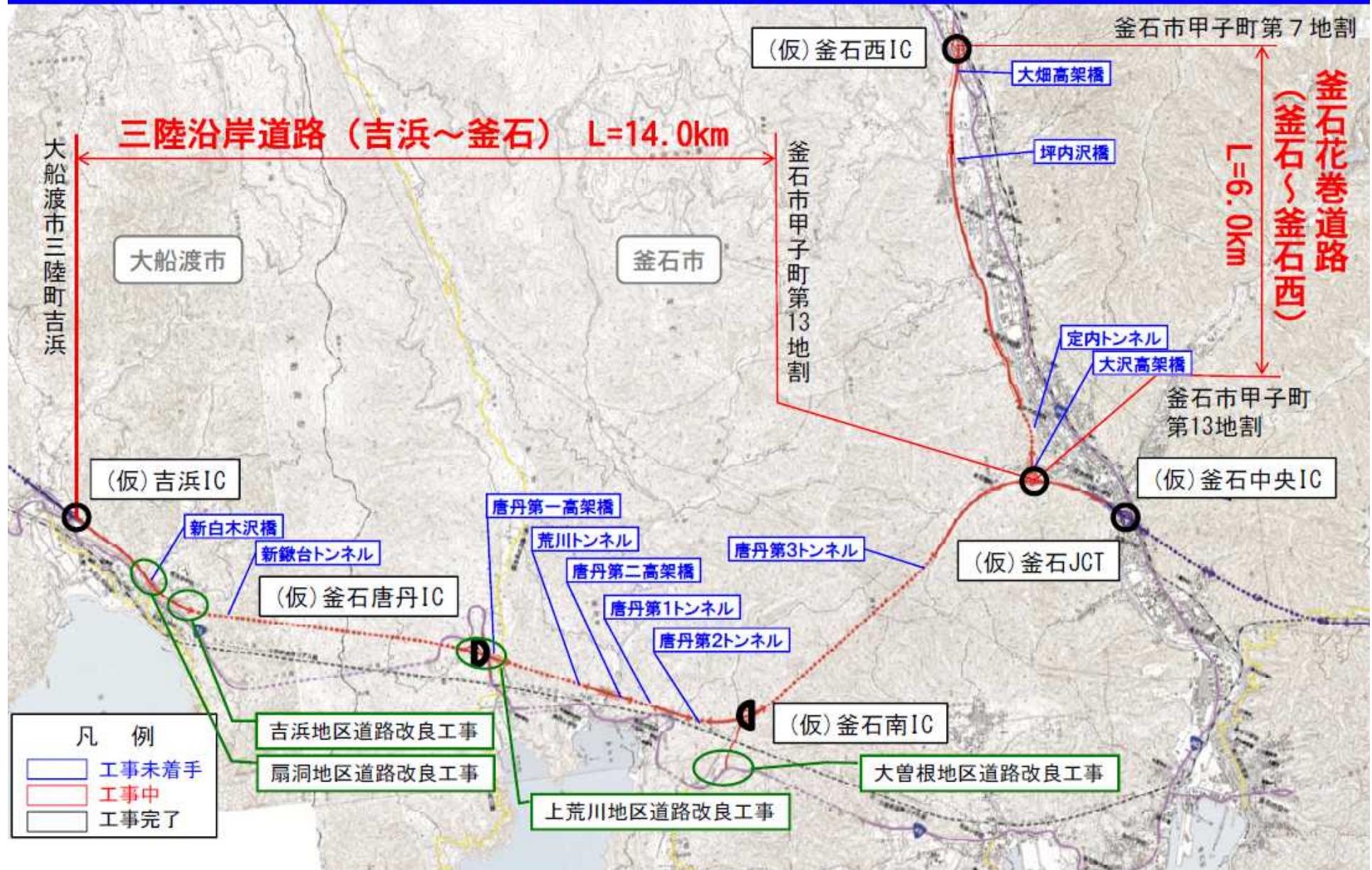


【追い越し車線部】



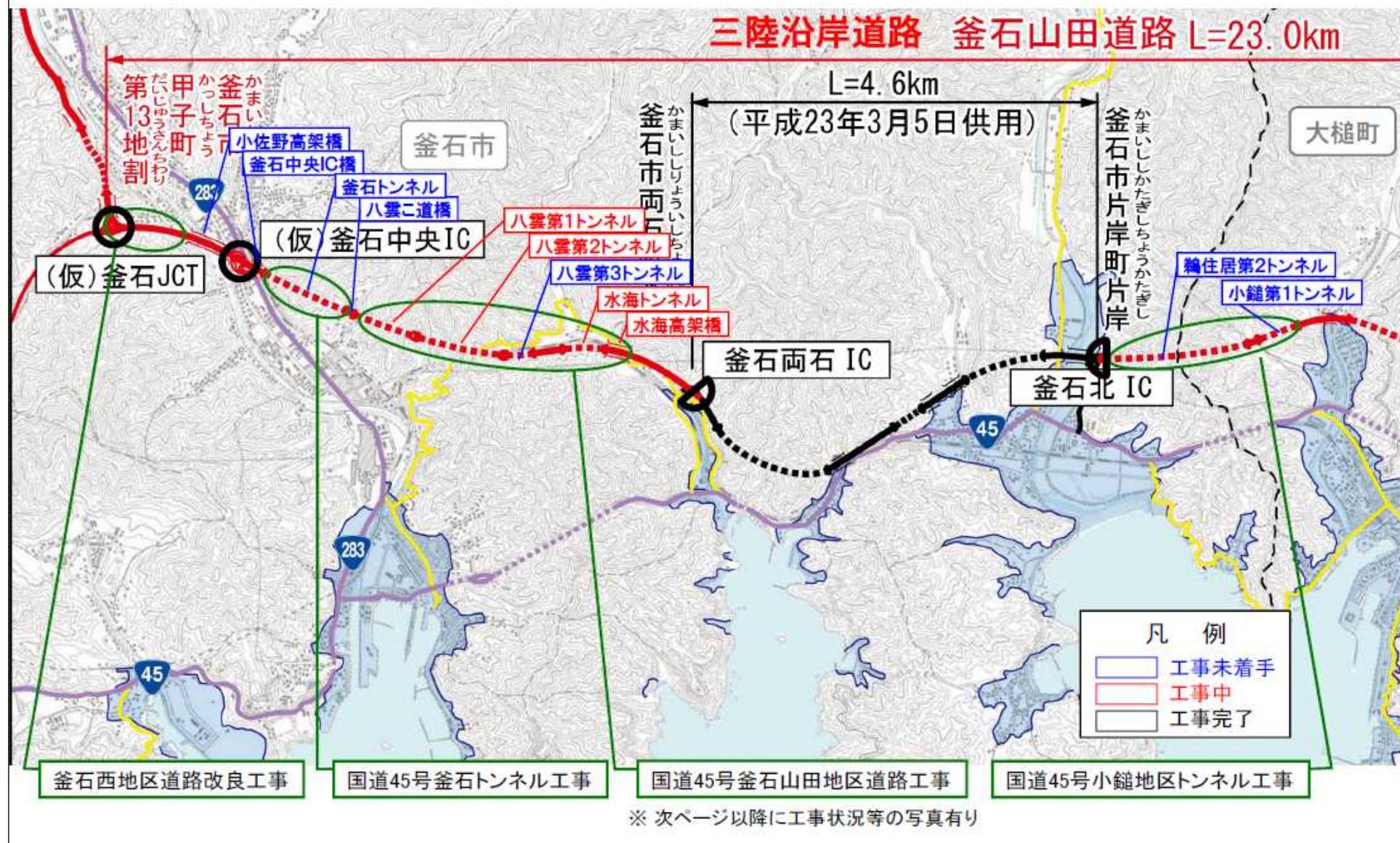
釜石市内の復興道路・復興支援道路(1/2)

国土交通省 南三陸国道事務所



釜石市内の復興道路・復興支援道路(2/2)

国土交通省 南三陸国道事務所



釜石山田道路の工事状況等 (1/4)

国土交通省 南三陸国道事務所



八雲第一トンネル外工事着工式
H24.6.29

釜石山田道路の工事状況等 (2/4)

国土交通省 南三陸国道事務所



国道45号釜石山田地区道路工事 (八雲第2トンネル L=839m)
トンネル掘削状況 H25年4月現在(380mまで掘削)



国道45号釜石山田地区道路工事(水海高架橋 L=184m)
上部工施工状況 H25年4月現在(7月閉合予定)

釜石山田道路の工事状況等 (4/4)

国土交通省 南三陸国道事務所



国道45号釜石山田地区道路工事(両石地区)
切土施工状況 H25年4月現在

3. 最新の土地利用計画

本日の議題

- ・ 土地利用計画図の提示
- ・ 今後のスケジュール
- ・ 災害危険区域の指定について

今までの経過

(仮設道の利用について)

- ・漁港災害復旧工事仮設道の避難通路への活用



現在市内部で取り扱いを検討中

今までの経過

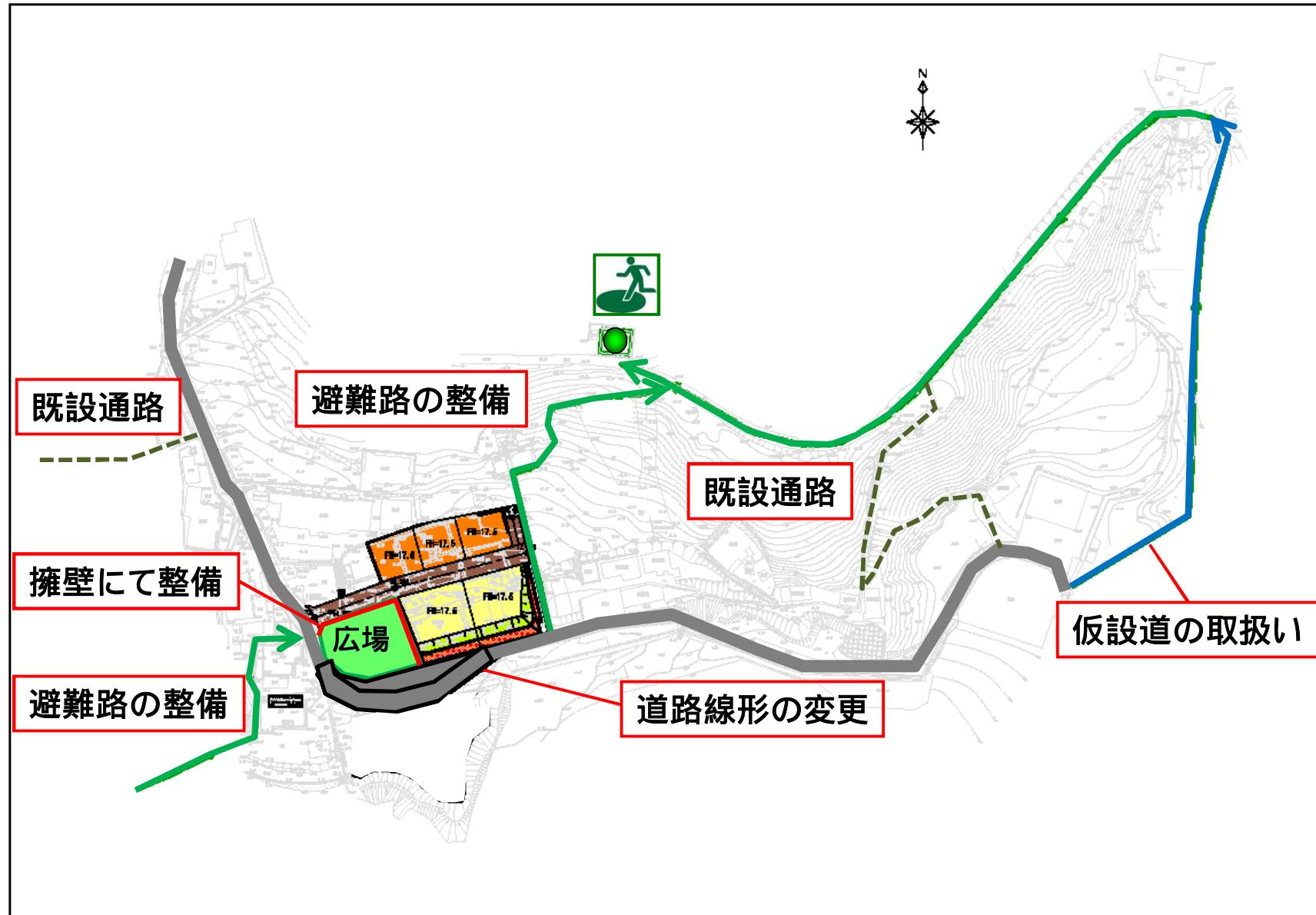
(津波避難場所意見交換結果について)

- ・避難路の設置について(既設通路を活用)

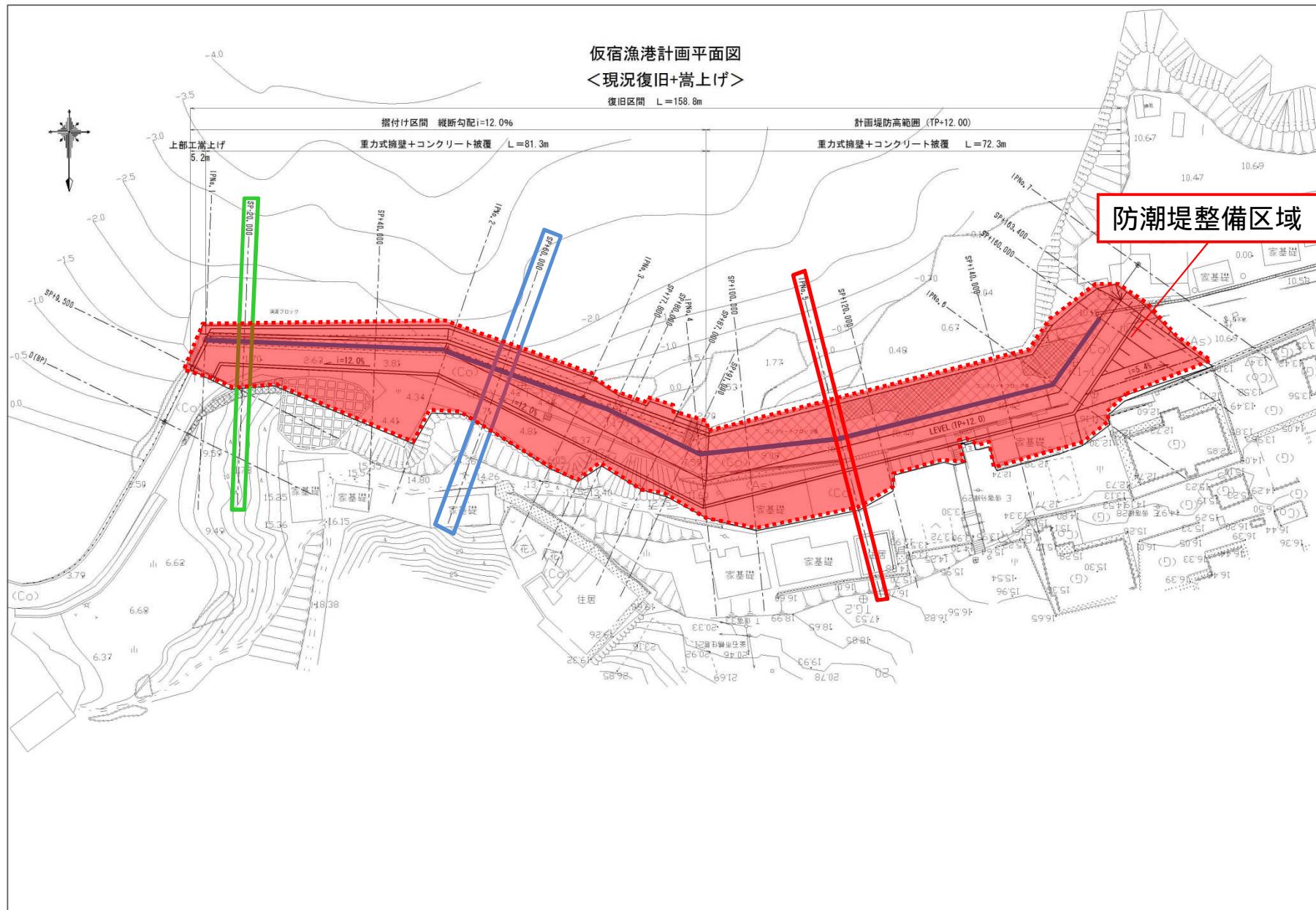


既設通路を活用した整備を検討中。

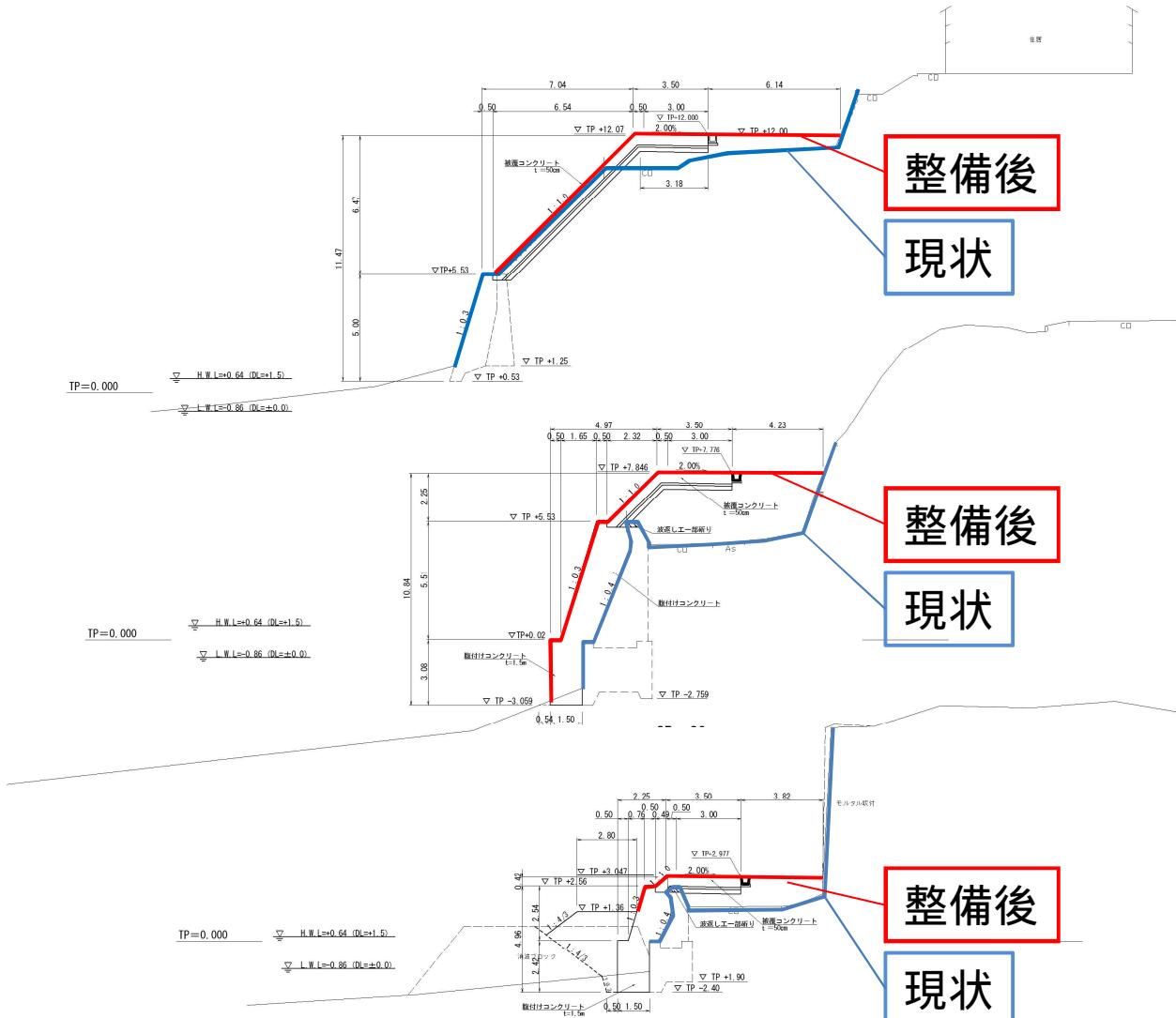
土地利用計画案



防潮堤整備計画案

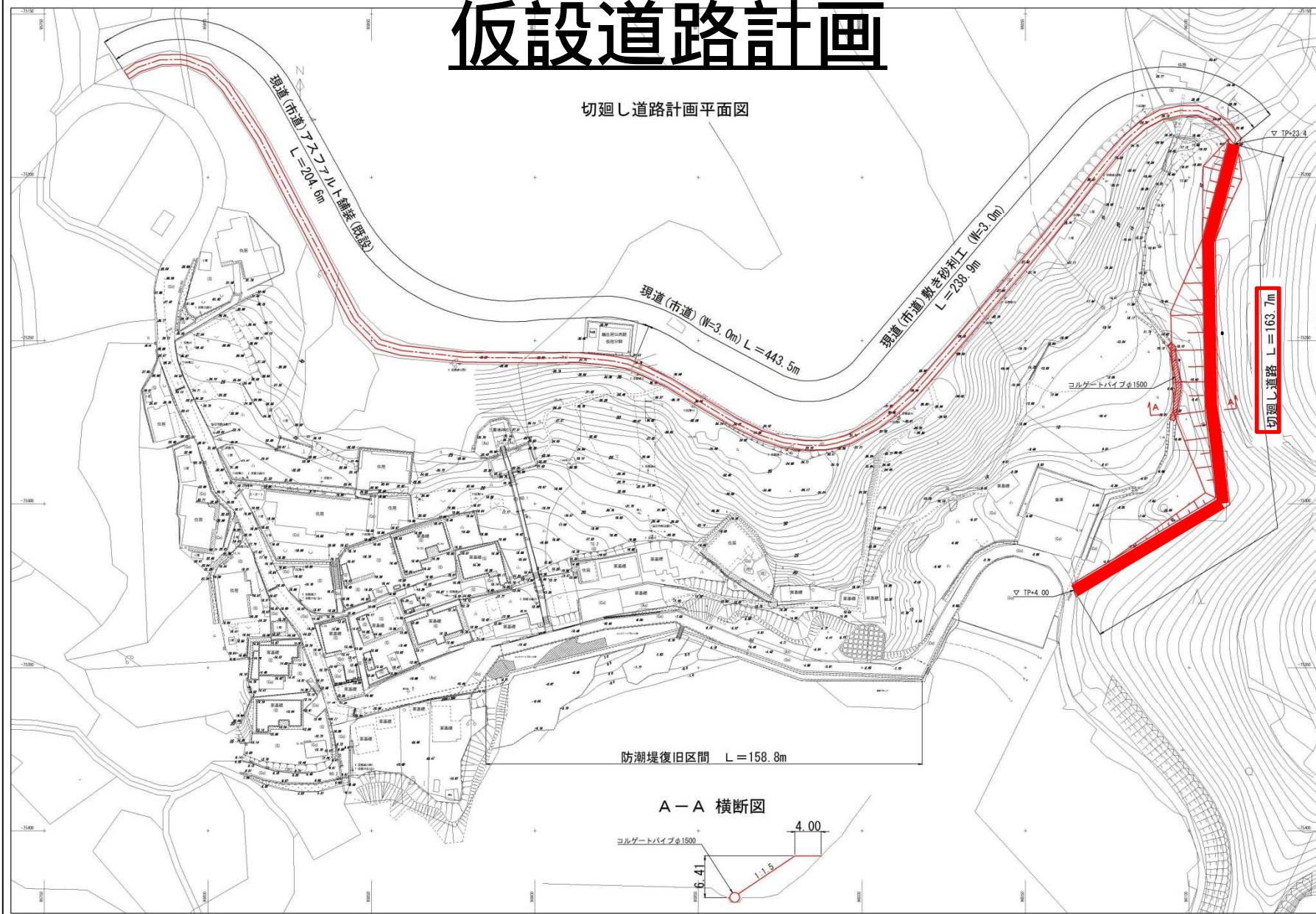


防潮堤計画断面案

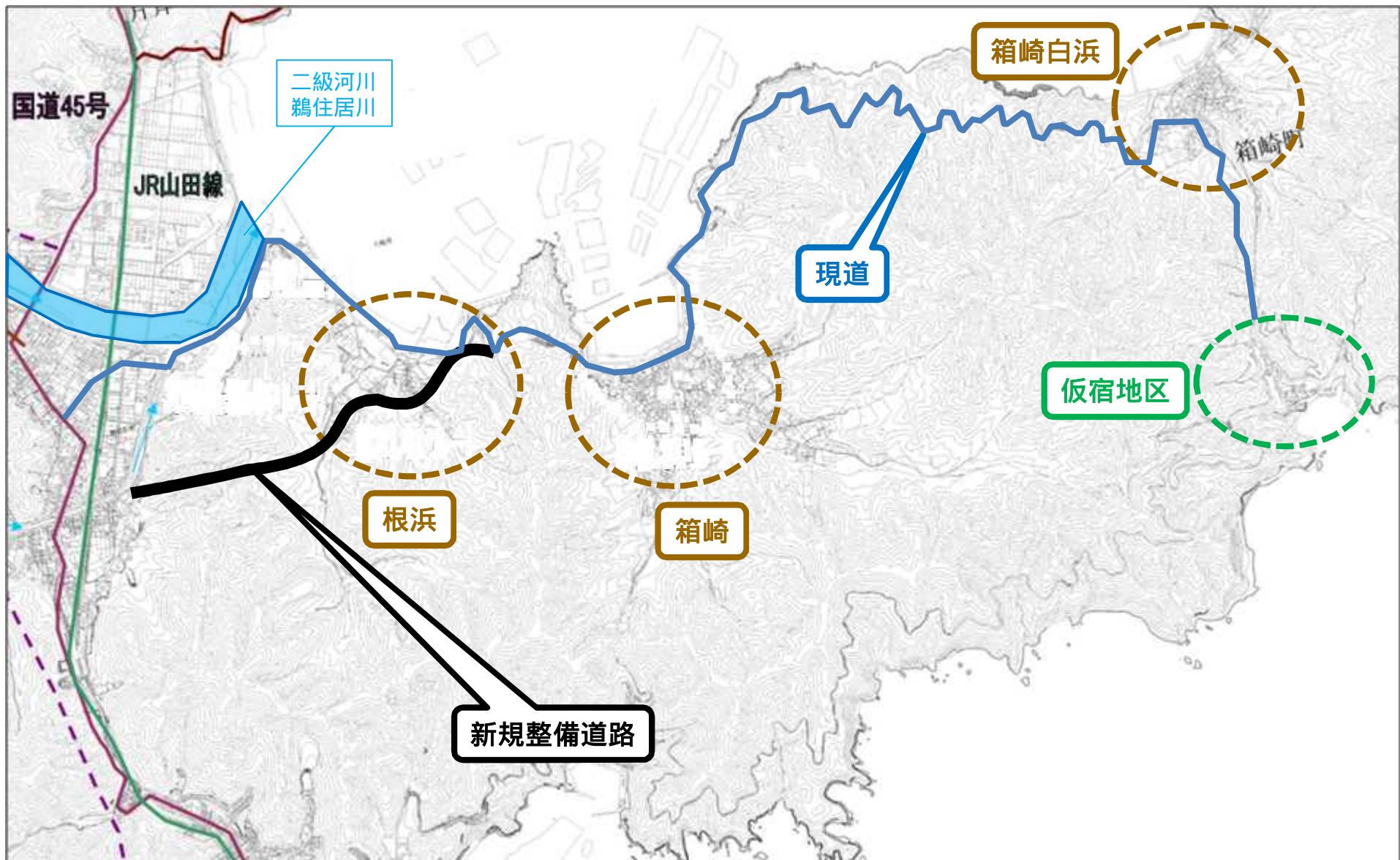


仮設道路計画

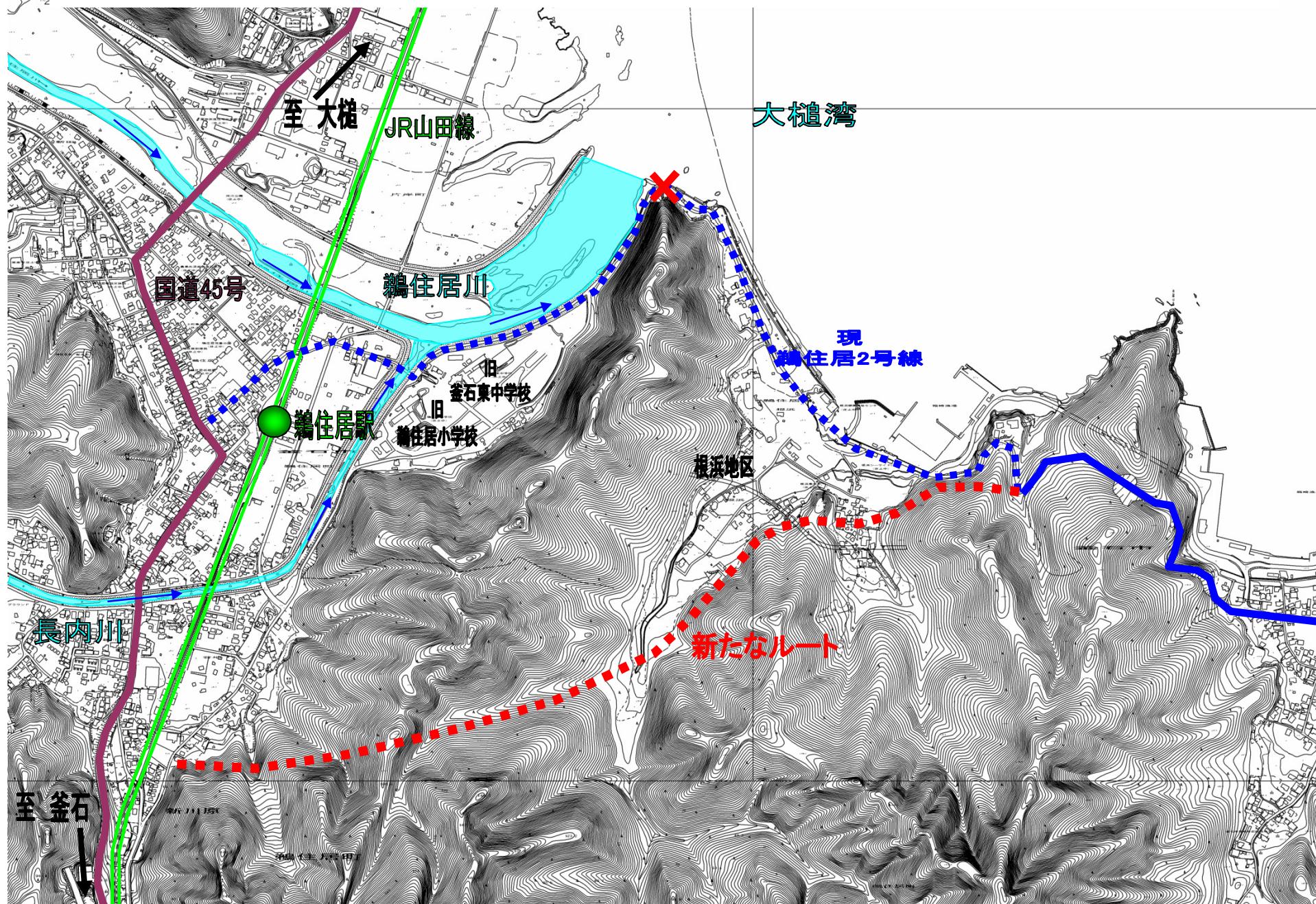
切廻し道路計画平面図



浸水地を回避する道路計画



鵜住居2号線について



被災状況



被災狀況



応急復旧状況

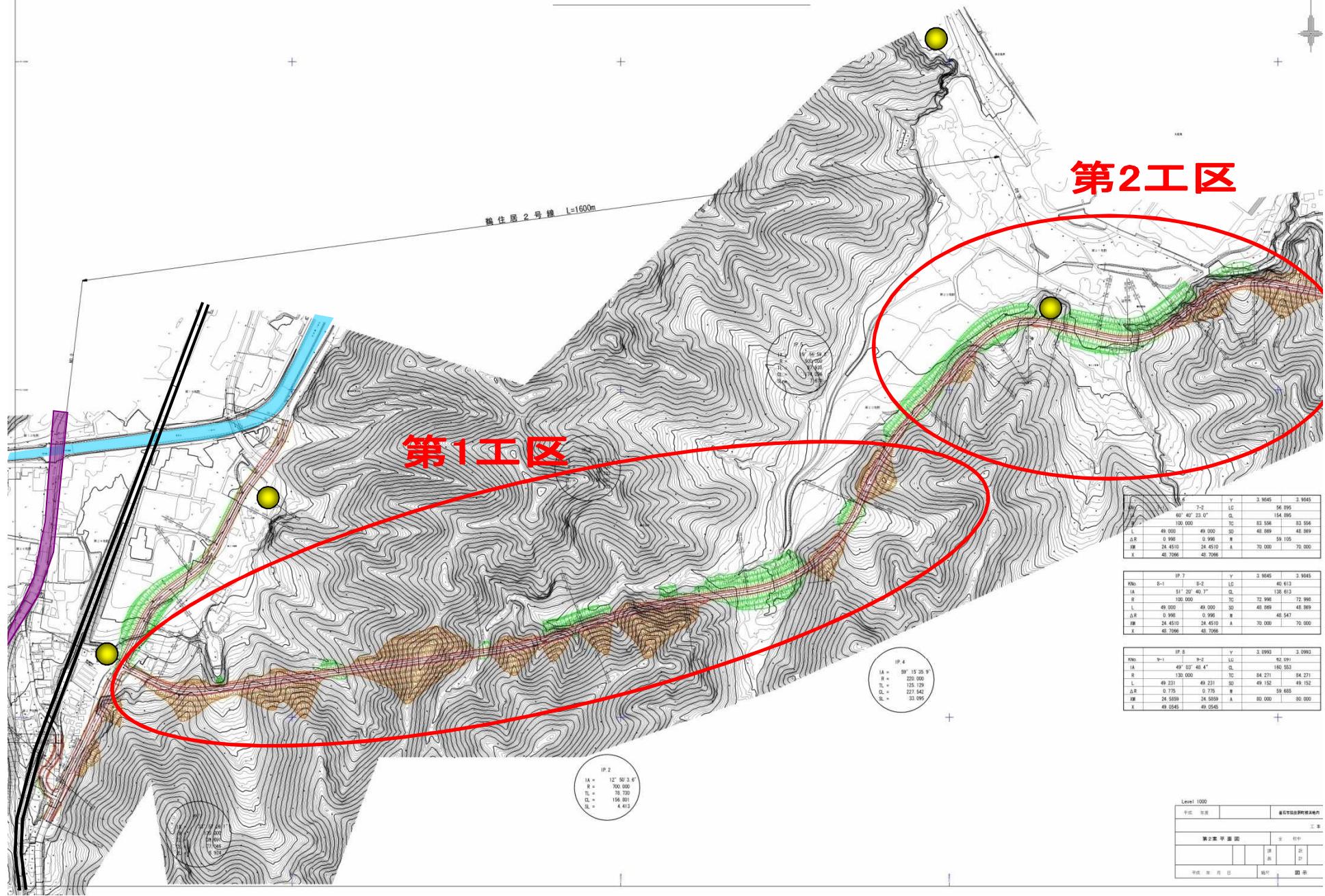


応急復旧状況

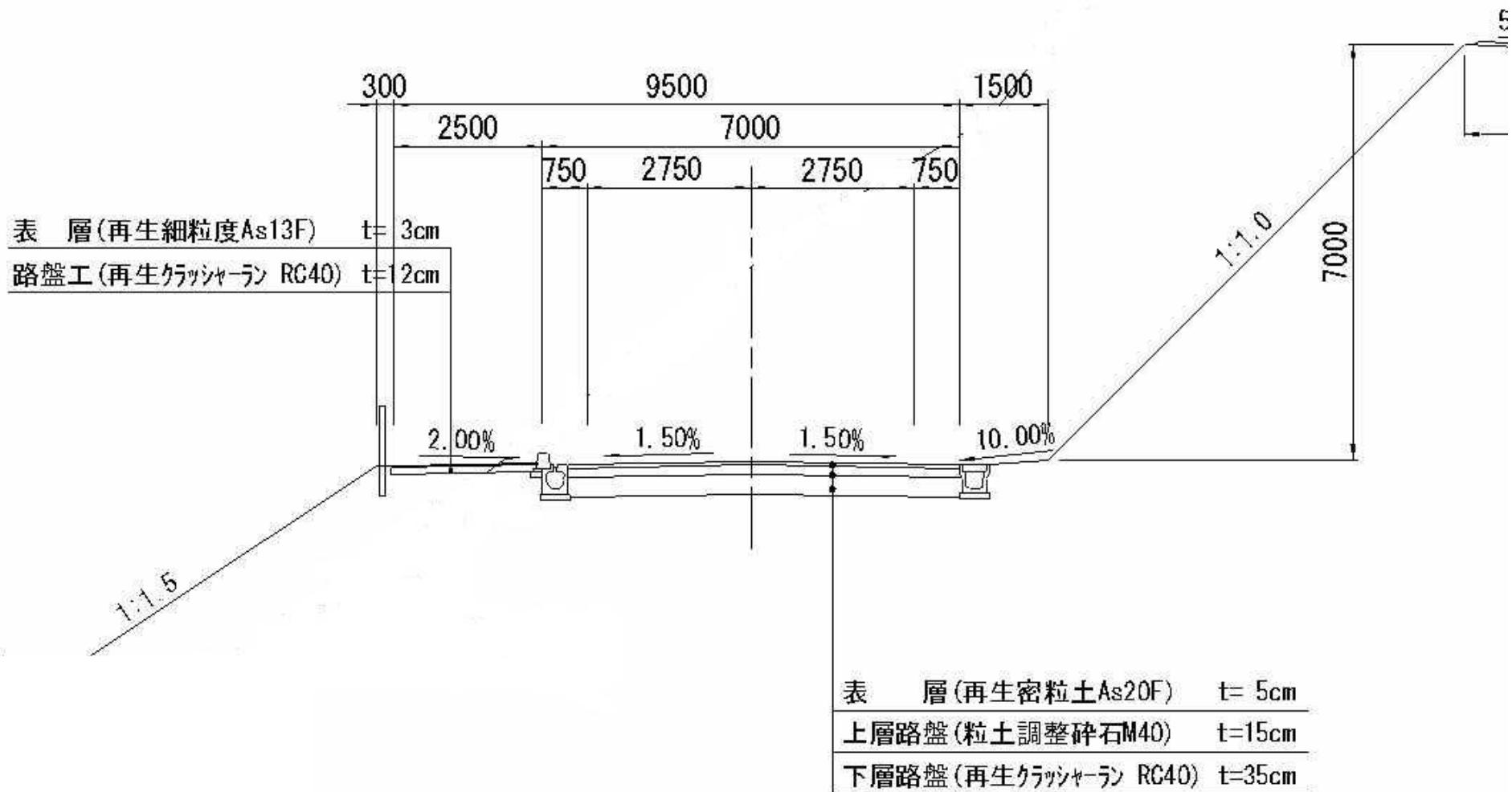


第2案 平面図

S=1:2500

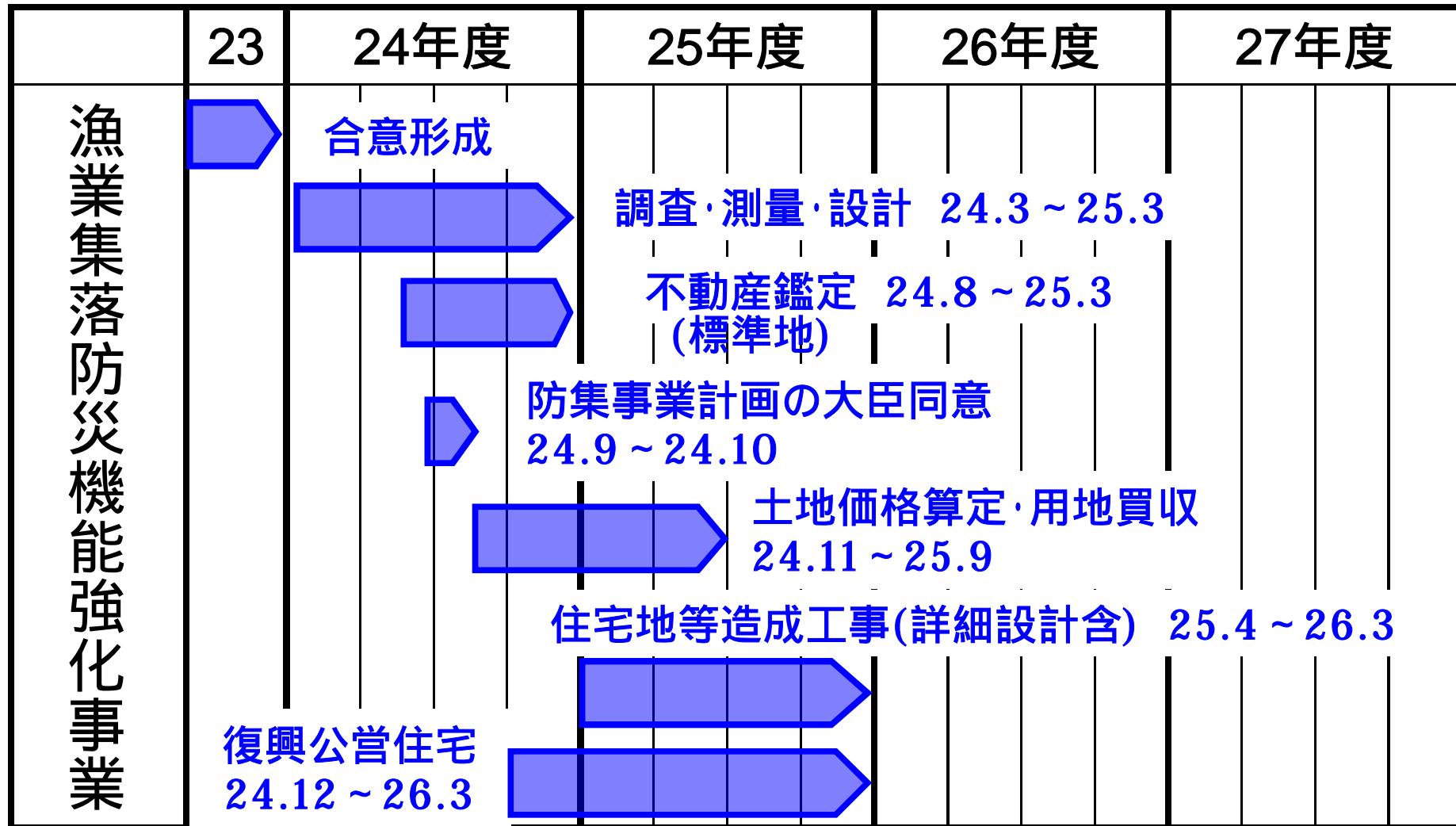


標準断面図



事業実施スケジュール(案)【仮宿】

進捗状況に応じて前後します。



4. 災害危険区域の設定について

災害危険区域とは

- 津波等の自然災害から市民の生命を守るために、
居住の用に供する建築物の建築を制限する区域です
- 平成24年12月22日に「釜石市災害危険区域に関する条例」が公布されました
- 災害危険区域の具体的な区域は、今後、告示により指定します

対象区域

【第1種区域】

想定津波が発生した場合、防潮堤など津波を防ぐことを目的として整備される施設の整備後も浸水が想定されるため、住宅、寄宿舎、長屋、共同住宅等居住の用に供する建築物の建築を禁止する区域

【第2種区域】

想定津波が発生した場合、防浪施設の整備後も浸水が想定される区域であるが、避難施設の整備など安全が担保されたうえで土地利用の観点から居住の用に供する建築物の建築を許容する区域

規制の対象

- ・ 居住の用に供する建築物の建築を規制の対象とします
 - 住宅、寄宿舎、長屋、共同住宅が該当します
 - 住宅には兼用住宅も含まれます
- ・ 店舗、倉庫、事務所、工場などの居住の用に供する建築物以外は、規制の対象外です

浸水が想定される区域の設定

- ・ 国土交通省作成の手引きに準拠した「津波浸水シミュレーション」により浸水が想定される区域を設定します
- ・ 津波浸水シミュレーションの条件
 - 津波は東日本大震災津波相当の最大級の津波
 - 地形は、盛土かさ上げが完了した復興後の状態
 - 防潮堤が整備された状態

浸水・災害危険区域の範囲について



5. 復興公営住宅予定整備戸数、住宅再建支援策について

復興公営住宅予定整備戸数について

- ・建設候補地の選定を進め、地権者の方々の合意を得しだい事業に着手し、早期の入居開始を目指す

建設場所	予定戸数	建て方	入居予定時期
仮宿地区	3	木造戸建	H26年度以降

住宅再建支援策について

追加を検討している支援制度(防災集団移転促進事業の対象者を除く)

支援制度	制度概要	補助上限額(万円)
(仮)住宅再建利子補給等事業	住宅を新築又は購入する際の借入金に対する利子補給及び転居に係る引越し費用の一部を支援	163

現在の主な支援制度

支援制度	制度概要	補助上限額(万円)
生活再建支援制度 (基礎支援金)	住宅の被害程度に応じて支給	37.5 ~ 100
生活再建支援制度 (加算支援金)	住宅の再建方法に応じて支給	150 ~ 200
住宅再建支援事業 (市と県の共同事業)	住宅を建設又は購入する費用の一部を支給	75 ~ 100
住宅再建補助金 (市の単独事業)	住宅を建設又は購入する費用の一部を支給	50
合計		475.5 ~ 613

6. 意見交換
